



# 山田こうじです！

2026年3月29日

NO.366

事務所：西院上花田町36-3

電話：222-3728

携帯：090-3970-4701

山田こうじ共産党検索

## イランを巡る軍事行動の即時停止と平和的解決を求める決議 2月市会

### 全会一致で可決

2月市会（2・16～3・24）閉会本会議で「イランを巡る軍事行動の即時停止と平和的解決を求める決議」が全会一位で可決されました。

アメリカとイスラエルによるイランへの先制攻撃により子どもを含む多くの市民が犠牲になっています。

決議は、「いかなる理由があるにせよ、力による一方的な現状変更は国際法違反につながる行為であり、平和都市宣言をしている本市として到底容認できるものではない」と強調。米国・イスラエル及びイランに対し、直ちに全ての軍事行動を停止することを求め、日本政府には、即時停戦と対話再開に向けた積極的な外交努力を主導することを求めています。

決議の賛成討論で、山本陽子議員は「トランプ米大統領が当初主張していたイランの核開発については差し迫った脅威はなかったことを国際原子力機関（IAEA）が表明しており、核開発問題の協議の最中に、米国が一方的に協議を打ち切り、

## 地球温暖化対策条例の一部改正の修正提案

武力攻撃を行ったことは、明白な国連憲章、国際法違反の無法な戦争であり、直ちに攻撃の中止を求めるべ

きです」と断じました。また日本政府の対応について「日米首脳会談でイラン攻撃を支持する態度を

表明したことは、恥ずべき最悪の従属外交と言わなければなりません」と厳しく指摘しました。



ただとなっています。

パブリックコメントに寄せられた市民意見を見ると、「2035年85%にすべき」「国際研究機関『クライメイト・アクション・トラッカー』

あまりにも不十分な国の削減目標をなぞるのではなく、国をリードする目標が必要です。

によると、1・5℃目標達成のために日本の必要削減幅は81%である」「1・5℃目標と整合した削減目標に改定してほしい」「より野心的な目標を立てる必要がある」

中東情勢の緊迫など、エネルギーを外国に依存している日本経済の危うさが浮き彫りになっており、再生可能エネルギーへの転換は待たなしです。温室効果ガスは空にたまり続けます。ゆっく

り減らす「直線的な削減」では、破局的な事態の回避にはとても間に合いません。

「つどい」には 京都平和委員会理事長の片岡さんをお招きし、京都で着々と進む「戦争する国づくり」の実態が報告されました。

国連気候変動枠組み条約に参加する国際環境NGO「気候行動ネットワーク」はCOP30で、脱炭素に後ろ向きな国を批判する「化石賞」に日本を選んだと発表しました。

自衛隊祝園分屯地が進む14棟の弾薬庫の建設や、舞鶴基地の強靱化、経ヶ岬の米軍Xバンドレーダー基地など、京都が前線基地化されています。

今回京都市から提案された温室効果ガス削減目標は、2030年度46%以上削減、2035年度60%削減、2040年度73%削減、2050年度実質ゼロというもので、国の目標をなぞる

私たちが本会議で修正提案を行いました。残念ながら、否決となりました。

にも大きな被害を与えています。

「地球温暖化対策条例」の削減目標をさらに引き上げる一部改正の修正案とし、2030年度までに温室効果ガスを60%削減、2035年度80%削減、2050年度実質ゼロにする目標を、

豪雨など風水害による災害によって、国民の命が脅かされ、農業や水産業にも大きな被害を与えています。

「つどい」には 京都平和委員会理事長の片岡さんをお招きし、京都で着々と進む「戦争する国づくり」の実態が報告されました。

今京都市から提案された温室効果ガス削減目標は、2030年度46%以上削減、2035年度60%削減、2040年度73%削減、2050年度実質ゼロというもので、国の目標をなぞる

私たちが本会議で修正提案を行いました。残念ながら、否決となりました。

度60%削減、2040年度73%削減、2050年度実質ゼロというもので、国の目標をなぞる

私たちが本会議で修正提案を行いました。残念ながら、否決となりました。

度60%削減、2040年度73%削減、2050年度実質ゼロというもので、国の目標をなぞる

私たちが本会議で修正提案を行いました。残念ながら、否決となりました。

度60%削減、2040年度73%削減、2050年度実質ゼロというもので、国の目標をなぞる

私たちが本会議で修正提案を行いました。残念ながら、否決となりました。



まごおおき  
山田こうじです！  
NO.352  
厳しい冬が去りつつあり、少しづつ春の気配が感じられるようになってきました。

西京極後援会の「つどい」が開催された三宮神社の境内の桜もつぼみを膨らませていました。

「つどい」には 京都平和委員会理事長の片岡さんをお招きし、京都で着々と進む「戦争する国づくり」の実態が報告されました。

自衛隊祝園分屯地が進む14棟の弾薬庫の建設や、舞鶴基地の強靱化、経ヶ岬の米軍Xバンドレーダー基地など、京都が前線基地化されています。

戦争する国づくりストップの花を咲かせましょう。